

2007年 2月 松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	△ 0.5	42.3	3.8	±0日
岡崎店	0.1	2.2	△ 2.2	±0日
名古屋駅店	5.1	4.8	8.5	±0日
豊田店	5.3	3.7	2.5	±0日
高槻店	△ 2.1	5.4	2.1	±0日
上野店	9.9	25.0	△ 9.1	±0日
銀座店	7.6	6.3	△ 1.5	±0日
静岡店	3.4	10.4	4.7	±0日
合 計	3.2	100.0	1.4	

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	△ 5.0	5.5
婦人服・洋品	△ 7.2	24.5
子供服・洋品	△ 6.8	2.7
その他衣料品	12.9	3.5
衣料品計	△ 5.2	36.1
身の回り品	△ 8.0	9.3
化粧品	6.9	3.3
美術・宝飾・貴金属	△ 15.0	6.8
その他雑貨	6.4	7.4
雑貨計	△ 3.0	17.5
家具	△ 5.3	2.9
家電	△ 33.0	0.9
その他家庭用品	67.8	6.4
家庭用品計	24.3	10.2
生鮮食品	31.0	4.2
菓子	1.9	7.9
惣菜	△ 1.1	4.6
その他食料品	101.5	7.2
食料品計	24.5	23.9
食堂・喫茶	△ 13.5	1.9
サービス	△ 5.5	0.6
その他	29.9	0.5
合 計	3.2	100.0

3. 商況概況

<主な店舗別売上高概況>

- ・全店売上高は対前年+3.2%。前年実施を上回った店舗は、岡崎店、名古屋駅店、豊田店、上野店、銀座店、静岡店。
- ・名古屋店は、バレンタインフェアが好調に推移したが、前年の改装前バーゲンの反動や、婦人・紳士部門の苦戦で、僅かに前年に及ばなかった。
- ・名古屋駅店は、駅前地区の再開発ビルオープン効果もあり、入店客数が大きく増加し、売上増。
- ・豊田店は、改装効果を持続し、7か月連続で売上増。
- ・上野店は、改装工事による営業面積減で入店客数が大幅減だったものの、法人外商が好調で、売上高は大幅増。
- ・銀座店は、旧正月催事の月ずれと、昨秋改装ブランドの好調持続により、売上高は好調に推移した。

<主な商品別売上高概況>

- ・紳士服・洋品、婦人服・洋品とも春物衣料は順調にスタートしたが、ラグジュアリーブランドの不振などにより、前年を下回った。
- ・身の回り品は、婦人アクセサリが低調で前年を下回った。
- ・美術・宝飾・貴金属は高級腕時計は好調であったが、外商大口受注減などのため大幅減。
- ・その他家庭用品および生鮮食品は、カタログギフトの計上方法変更により大幅増。
- ・その他食料品は、外商の大口受注で大幅増。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

2007年2月 横浜松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横 浜 松 坂 屋	△ 0.2	7.2	±0日

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳 士 服 ・ 洋 品	△ 14.9	3.4
婦 人 服 ・ 洋 品	△ 4.5	17.8
子 供 服 ・ 洋 品	△ 33.0	5.0
そ の 他 衣 料 品	2.0	1.8
衣 料 品 計	△ 12.1	28.0
身 の 回 り 品	△ 10.0	2.6
化 粧 品	△ 15.4	2.1
美術・宝飾・貴金属	9.8	7.9
そ の 他 雑 貨	22.7	2.4
雑 貨 計	6.6	12.3
家 具	△ 18.3	0.2
家 電	99.5	0.9
そ の 他 家 庭 用 品	△ 34.5	2.7
家 庭 用 品 計	△ 20.8	3.8
生 鮮 食 品	28.8	12.6
菓 子	1.8	8.3
惣 菜	4.0	9.2
そ の 他 食 料 品	△ 1.0	5.1
食 料 品 計	10.3	35.1
食 堂 ・ 喫 茶	13.4	2.2
サ ー ビ ス	15.4	7.0
そ の 他	△ 3.1	9.0
合 計	△ 0.2	100.0

3. 商況概況

<主な売上高概況>

- ・売上高は対前年△0.2%。
- ・入店客数は、各種イベントが功を奏し、+7.2%と前年を上回った。
- ・外商部門は個人、法人とも苦戦。

<主な商品別売上高概況>

- ・紳士服・洋品はカジュアル衣料が苦戦し、前年を下回った。
- ・婦人服・洋品は、前年の厳冬に伴う重衣料好調をカバーしきれず、売上減。
- ・子供服・洋品は前年に大口特注があったため、反動減。
- ・生鮮食品は催事の月ずれで大幅増。
- ・サービスは各テナントの好調により前年を上回った。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋) TEL 052-264-7028
広報・IR室 (東京) TEL 03-3572-1201

Matsuzakaya
HOLDINGS